



Saee Tahara

バッハに魅せられて

在仙ピアニストであり、仙台バッハゼミナール代表の田原さえ先生のお話を通し、地域のレスナー・音楽家の皆様がバッハ、ポリフォニー作品をより身近に感じ、指導・解釈・演奏法を高めていただける内容です。

「バッハはむずかしい!?!」「ポリフォニー作品の勉強はなぜ必要?導入方法は?」「他の作曲家への影響と解釈は?」といった日頃のお悩み、教え方・演奏方法でお困りの方。

田原先生と一緒に解決しましょう!

- 第1回 3月15日(木)「どうしてバッハはむずかしい?」
- 第2回 4月25日(水)「臆せず弾こう!バッハ!」
- 第3回 6月1日(金)「上手に手ほどきするために」

時間:10:30~12:00

会場:島村楽器 仙台泉パークタウンタピオ店 ピアノセレクションルーム内特設会場

料金:1回 ¥3,800 (会員割引¥3,080) 税別

茶話会

セミナー終了後 12:00より茶話会を開催します。田原先生や他の先生方と情報交換や問題解決の場にご活用下さい。

田原さえ プロフィール

仙台市出身。武蔵野音楽大学・同大学院を経て、1990年ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学修了、オーストリア政府芸術修士を取得。帰国後は、ソロや室内楽など幅広く演奏活動を行い、東京と仙台とでリサイタルを開催(15回)。また、ザルツブルグでのI.ハッセとのデュオ・リサイタルや、ベルリン弦楽四重奏団、P.L. グラフとの共演など国際的にも活躍し、2008年6月にはプラハ放送交響楽団との協演も行った。公開レッスンなどでの通訳も数多くこなしている。平成14年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。第2~6回仙台国際音楽コンクールではチャレンジャーズライヴのコーディネーターをつとめる。また、仙台バッハゼミナールやミュージックプロデュースMHKSを立ちあげるなど、仙台を中心に様々な音楽活動を展開している。2010年12月に初のソロCD『それは、懐かしい時の始まり』を、2013年6月にはフルートのP.L. グラフ氏とのライヴCD『コンチェルディーノ』をリリース。現在、昭和音楽大学及びNHK文化センター仙台教室講師。MHKS音楽プロデューサー。仙台バッハゼミナール代表。宮城県芸術協会会員。

申込用紙

バッハに魅せられて ご希望日に○をお付け下さい 3/15(木)・4/25(水)・6/1(金)

お名前

一般

会員 (No.)

ご住所

お電話番号